

緑の風

神奈川県 PTA 協議会
平成30年度広報紙コンクール
**奨励賞
受賞!**

あつ、危ない!
～交通事故から子どもを守るために～



ランドセル大調査!

～アンケート結果報告 vol.1～

初めての夏がきた!

学んで、遊んで、たくさん食べて、毎日がワクワクドキドキの1年生

副会長 諸野 義之

会長 山川麻紀子

副会長 伊藤亜也子

副会長 榎 恭子

一つ一つの積み重ねが大きな成長に
～カイコの飼育を通して～

3年生

2年生

6年生

ヤゴ、探れた!!
パワフルに働く最高学年!
～プール掃除～

行ってきました、宮ヶ瀬ダム

4年生

今秋、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
オーケストラがやってくる!

夏休み編
みどりっ子の宿題事情

先生質問です!
音楽は、心を育てる教科です
音楽 藤澤玲子先生

進化するP.G.T.。 山川会長2年目の挑戦!

平成から令和へ。新しい時代の幕開けと共に、緑が浜小学校の2019年度P.G.T.の活動も始まりました!
昨年度に引き続き会長職を引き受けてくださった山川麻紀子会長。さらなる進化を遂げる山川新体制が2年目の挑戦に挑みます!

昨年度に引き続き、今年度もP.G.T.会長という大役をお引き受ける事となりました。会員の皆様には、日頃からボランティア活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年度は新しい方々との出会いに新鮮な気持ちでスタートしました。一年を通し皆さんと一緒に一つ一つの行事や企画を無事終えてゆくと、達成感を共有する事ができました。少し緊張しながら挨拶していた方々とも今は会えるだけで嬉しい仲間になりました。一緒にいると安心する仲間という意識に変わったのです。安心感を得られる仲間がいるという事は本当に幸せです。そんな皆さんに支えられ感謝しています。皆さんに支えられているという事を忘れず、今年度も「向き不向きより、前向き」精神で元気に頑張っていきたいと思ひます。

今年も一年、どうぞよろしくお願ひいたします。

キラリン

緑が浜小学校 P.G.T.
会長 山川麻紀子





あっ、危ない!

～交通事故から子どもを守るために～

「止まって!」「危ない!」「はじに避けて!」

子どもと一緒に道を歩いている時や自転車に乗っている時、皆さん一度は口にしたことのある言葉ではないでしょうか。まだまだ注意の不十分な子どもたち。登下校や放課後、休日に子どもだけで出掛ける時、少し不安な気持ちで送り出す方も多いと思います。茅ヶ崎市で小学生がからむ交通事故は、今年1月1日～5月31日までの間に11件あり、その中には死亡事故も、自転車に乗っていて加害者になった事故も含まれています。子どもだけで行動することが増える夏休みの前に、もう一度交通安全について考えてみませんか。



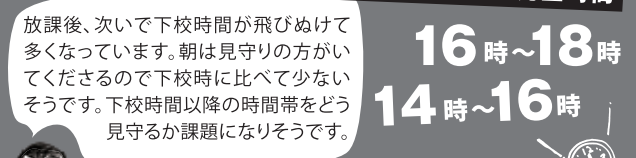
茅ヶ崎市の統計からみる交通事故

過去4年間で事故の多い月



ちなみに、神奈川県内の統計では5・6・7月の事故件数が多いそうです。

過去5年間で多い事故発生時間



小学生の歩行中による事故が多い年齢



! 後から悔やむことのないように !

茅ヶ崎警察総務課より
今年起きた小学生の交通事故件数11件(前述)、多いと感じましたか? 意外と少ないと感じましたか? 小学生は6年間あるので、そのうちのこの期間だけで…と考えると、私たちはこの数字は大きいと考えています。それに、子どもの事故の占める割合も県内の平均より少し多く、内容もあまり良くありません。子どもの事故は、飛び出しなど悔やまれる事故が多く、ケガも重傷になりがちです。そういった意味で、子どもの事故は1件でも重く受け止めなければいけません。また、市の安全対策課と警察が協力して、市内の全小中学校で交通安全教室(※)が行われていますが、普段の大人の交通ルールの守り方を子どもたちはよく見ていて、そちらを真似がちです。まずは大人が、普段から見本となれるよう行動することが大切だと考えています。また、夏休みに車でお出掛けの機会も増えると思います。国内で、シートベルトをせずに後部座席に座っていた小学生が亡くなる事故も起きていますので、後部座席でもシートベルト着用をお願いします。

※緑小は入学式の日に新入学児童交通安全キャンペーン、4月に2年生は自転車教室、5月に1年生は交通安全教室が行われました。

ちょっと危ない? 登下校編

この日は、見守り隊や安全ボランティアの方が声掛けや誘導をしてくださっていたので比較的安心でしたが、駐車場の中を歩いてくる子や信号が点滅してから渡り始める子、急に飛び出したり走り出す子など、子どもたちの予測不可能な動きは「やはり…」と思わざるを得ませんでした。ちょっとした事ですが、場所とタイミングで大きな事故になりかねません。もう一度、ご家庭で確認してみましょう。



車も自転車も頻繁に通ります



友だちと遊んでるとつい…



傘をさすどうしてもも広がってしまいます



ゴミ置き場の横を通る時も…

現在、Gの見守り隊は16人ですが、Pの安全ボランティアは7人で、子どもたちを見守るには十分な人数とは言えません。活動は毎月曜日、ご自宅周辺です。朝の忙しい時間だとは思いますが、自分の子どもを見送りがてら、子どもたちを見守ってみませんか。活動してくれる方は担任の先生にお知らせください。また今年度無理な方も、ぜひ来年度の登録をよろしくお願いします。

安全ボラより
朝立っていると、話しかけてくる子、気になる子、いつも遅い子など、だんだん子どもたちの様子がわかってきます。それに、子どもたちが自分の子どもの学年関係なく、挨拶をしてくれることが朝からすこく気持ち良いですよ!

横断中
安全ボランティア募集!

3年生

一つ一つの積み重ねが大きな成長に

カイコの飼育を通して

緑小3年生は毎年GW明け頃からカイコを育てます。「お蚕さん」と呼ばれるこのカイコ。

茅ヶ崎にもかつては養蚕農家や製糸工場がありました。なかなか身近なものではないですね。

理科の田中先生が卵から孵化させてほどよく育てた幼虫が子どもたちの手に渡ります。各自大切に育てていきます。

カイコを前に、おそろおそろの子もいたり、カブト虫感覚で育て始める子もいたり、

最初は様々でしたが、みんなその早い成長ぶりに驚かされていました。4回の脱皮をしたのち、

しばらくすると糸を吐き始め、美しい楕円のまゆを作るのがカイコの一生。「まゆができた後はどうするの?」と聞いてみたら、「キーホルダー作るの!」と楽しみにしていました。

(田中先生の多大なるお力が必要なのですが…)

絹糸として役割を果たすため懸命に糸を吐く姿を子どもたちが間近で見、自らの手で育てる機会がある、

ということはとても貴重なことだと感じました。「経験したことがある」という一つ一つの積み重ねが大きな成長になっていく伸び盛りの子どもたちに、このカイコの飼育を通して、いろいろなことを学ぶチャンスを用意してくれているのかなと感じました。



それぞれの形を活かしてまゆから作ったキーホルダー。

思ったよりもカイコが大きく成長してびっくりしたけど、カイコは可愛かった! まゆが固くなるのに日がかかるのが面白かった。(H・Mさん)

最初は嫌だったけど、慣れてきてお世話できるようになって嬉しかった。フンの掃除が大変だった。(K・Sくん)

4年生遠足

行ってきました、宮が瀬ダム!

4年生の学校生活も1ヶ月が過ぎ、長い長い連休明けの5月8日(水)、令和最初のビッグイベント、遠足。見渡す限りの青空のもと、元気あふれるみんなで学び、遊び、そして楽しむことができました!

すごい迫力でした。色はまるで牛乳みたいに真っ白でビールの泡みたいって言うてる人もいました。(S・Hさん)

人が1日に使う水の量が約260リットルということを知りました!(W・Mさん)

ダムの水は電気にも関わりがあると知りました。生きていく上で大切な水も電気もダムのおかげで私たちの元へ届く事に驚きました。水をとても大切にしようと思います。(S・Kさん)

ダムを前から下まで見て思ったより低くてびっくりしました。(Y・Mさん)

木陰でみんなでお弁当を食べて、迷路ではみんなで探検しながらたまにはぐれたり、ツリーでは一番高い所まで登りました。上から下を見たらすごいこわかったけどいろんなものが見えて楽しかった!(M・Aさん)

T・Eさん

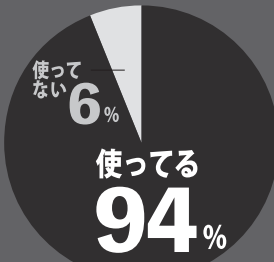
観光放流を初めて見る子どもたちが多く、想像を絶する水の量とダイナミックな音と迫力満点な光景に、みんな大興奮! 大量に流れ落ちた川底には、水しぶきからなる虹がかかり、感動の声もあがったそうです。『水とエネルギー館』では自然のとうとさ、生きていく上で水がどれだけ大切なのか、そして水のためにダムが大きな役割を果たしている事を知り、学んだようです。学びの後は、みんなでお弁当、お菓子タイムをすませ冒険の森で思い思いに遊び、あっという間に楽しかった遠足は終了です。

どど〜ん!

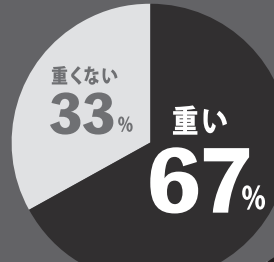
ランドセル大調査!

見守りボランティアのおじいちゃん、おばあちゃんから、
「ランドセル重たそうね～」という心配のお声が聞こえてきたのがきっかけで、
保護者の皆さん、先生方に、ランドセルアンケートのご協力をいただきました。
本当にたくさんのご回答をありがとうございました!

ランドセルって「使ってる?」「使ってない?」



ランドセルって「重い?」「重くない?」



調査結果では、ランドセルを使用しているお子様が**94%**と多い一方で、重たいと感じているのは全体の**67%**もいることが分かりました。

※集計結果の円グラフ(集計表参照)1年～6年合計、回答率88%。

ランドセルを使用している理由で多かったのが、

必須だと思っていた!

機能的!

祖父母からのプレゼント

丈夫!

という意見。

その他、安全性、体のため、本人が好きだから、
という意見もありました。

一方使用していない理由で多かったのは、

容量が少ない!

重たい!

体に合わない!

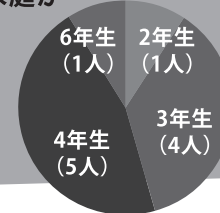
譲るため

という意見もありました。

また、使用していない学年で一番人数が多かったのは、
6年生の11人。その11人のうち、3年生と4年生で
リュックに切り替えたというご家庭が
ほとんどでした。

何年生から使わなくなった?

(6年生11人の内訳)



いろいろなお意見がある中、
そもそもランドセルって?
という素朴な疑問が湧いてきたので、
起源について調べてみました!

ランドセルの起源

ランドセルの原型、「ランセル」が日本にやってきたのは、江戸時代後期。幕府が洋式軍隊制度を導入する時、オランダのバックパック「ランセル」を利用したのが始まりです。明治に入り、通学用として初めて使われたのは、学習院の初等科。当時は庶民には高価なもので、全国に広まったのは戦後の高度成長期以降だそうです。意外と最近のことなのですね!

ランドセルの使用は義務なの?

今回のアンケートでも多かったのが、「ランドセルが必須だと思っていた」というご意見です。使用の義務があるのかどうか調べてみましたが、義務である法律はなく、国も教育委員会も学校も、基本的に必ずランドセルにするようにとは言っていないことが分かりました。実際、京都や大阪、滋賀、埼玉、福岡の一部地域では軽い素材のランリック(700g前後)という、ランドセルとリュック一体型の通学かばんを使用していたり、坂道や雪の多い北海道小樽市では、ナップランドという防水性と機能性、耐久性を兼ね備えたかばん(約660g)を使用しています。(いずれも1万円前後。ネットで購入可)ただ、ランドセルには優れた機能があるのも事実。①浮き輪になる、②後ろに転んだ時、頭を守る、③何より丈夫、など。①の浮き輪は、ランドセルの中身を入れたまま水の中に入っても体が浮くことが分かっています。津波などの災害時には、役に立つ可能性がありますね。また、上の子が中学生になってリュックになると、教科書の角でリュックに穴が開いたり、教科書が入れづらいためランドセルは便利だと分かった!というご意見も。一方入学時、重たいランドセルで前に転んでメガネを傷つけてしまった、椅子から転げ落ちたという意見や、背中にアザができた、腰や足を痛めた、体が成長すると小さくなって肩がきついというご意見もあり、特に低学年には重たいのが気になるどころ。実際、ランドセルではなく、中の教科書や水筒が重たいという意見がたくさんありました。

ランドセルを調べるとなかなか奥が深く、今号だけでは掲載しきれない内容となってしまったので、次号も引き続きご報告したいと思います。実際どれぐらいの重さを毎日背負ってるのか、置き勉についての先生方の回答、昔と今の教科書のページ数について、ランドセル使用後の使い道などを予定しています。どうぞお楽しみに!



ランドセルおすすめ便利グッズ「サンドセル」
体操服や上履き、体育館シューズをスッキリ収納できて、
荷物に振り回されることがなくなります。

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

今秋、オーケストラがやってくる!



後半は楽器の説明、ミニコンサートがありました。ヴァイオリン奏者の金子さんの華麗なる演奏に先生も子どもたちもうっとり。ピアノ奏者の森田さんの演奏はランチルームとは思えない迫力でした。打楽器奏者の松本さんのポパイパーカッションもユニークで面白かったです。

ワークシヨップだけでも楽しく盛りだくさんな内容で、本公演が待ち遠しくなりました。9月の本公演は保護者の方々もご覧いただけます。オーケストラと子どもたちの合唱との共演もありますので、ぜひ足をお運びください!

合唱練習では、子どもたちが歌い慣れている「ピリッ」を練習しました。一度歌った後に発声や口の開け方のコツを教えていただき、二度目の合唱はぐっと良くなりました。

オーケストラについての解説では、オーケストラって何だろう?オーケストラの人数はどれくらい?どんな音楽をしているの?など、子どもたちにも分かりやすい説明がありました。オーケストラの標準人数は70人ほどですが、時には千人くらいになることもあると聞き、子どもたちからは驚きの声。子どもたちもよく知る有名な作曲家については音楽の授業では勉強しないようなことも教えてもらって、みんな真剣に話を聞いていました。

オーケストラについての解説では、オーケストラって何だろう?オーケストラの人数はどれくらい?どんな音楽をしているの?など、子どもたちにも分かりやすい説明がありました。オーケストラの標準人数は70人ほどですが、時には千人くらいになることもあると聞き、子どもたちからは驚きの声。子どもたちもよく知る有名な作曲家については音楽の授業では勉強しないようなことも教えてもらって、みんな真剣に話を聞いていました。

今秋9月18日(水)に開催予定の東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の公演に先立ち、5・6年生を対象としたワークシヨップが6月21日(金)の3・4時間目に開かれました。ワークシヨップでは5名の楽団員の方々が、オーケストラについての解説、楽器の説明、合唱練習、ミニコンサートを行ってくださいました。

ボディパーカッションのおじさんがすごかった!

5年 A.Yくん

歌の教え方が上手で分かりやすかった

5年 N.Uさん

オーケストラが70人もいることにびっくりした

6年 A.Tさん

打楽器を演奏している人が自分の体を使って色々な音を出していたのが印象的でした

6年 J.Kくん



初めての夏がきた！～学んで、遊んで、たくさん食べて、毎日がワクワクドキドキの1年生～

期待と不安で胸いっぱいだった入学式から早や3か月、48名の1年生はもうすぐ学校生活初めての夏休みを迎えます。5月の参観、6月の土曜参観と徐々に学校に馴染んでいく子どもたちの姿を目にしたことに胸をなでおろしつつ、今回はさらによくばって、謎のペールに包まれた給食や、屋上プールの授業に侵入してみました！

さむーい！でも楽しい！初めての屋上プール

5月はとても暑かったのに、1・2年生のプール開きの日、6月11日(火)は、気温が低過ぎて「せっかく晴れたのにー！」とみんながっかり。次はできるかな？と待ちに待った14日(金)…。20分休み、プールの水温を測りに飯田先生は屋上へ向かいました。戻ってきた飯田先生は両手で大きなマル！子どもたちからガッツポーズと大きな歓声が上がりました。水温24℃、屋上の気温27℃、合計50℃を超えたのでプールに入れる！

プール



いざ屋上プールへ！



先生の注意事項もしっかり聞くよ。「走らない、押さない、濡れたマテ禁止」



黄色い帽子をかぶって見学「次は一緒に入りたいな」



水中ウォーク、水中じゃんけん、フープ探し。「何をやってもプール最高！」



いよいよプールへ。「冷たいー!!」



準備体操「いち、に、さん、し」

給食

1日の真ん中、お昼時間も張り切ってます！

給食の時間は子どもたちの楽しみのひとつ。給食当番を待ちわびている子も多いようです。



「おいしい給食取りにきました！」

12:18



配膳スタート

12:50



完食！給食終了。

12:45



「おかわりー」

12:40



モリモリ食べる子どもたち。

12:25

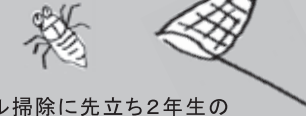


「いただきます！」

取材中ある上級生が言いました。「黄色い帽子の子にはやさしくしないといけないだよ。」プールでは休まず動き回りながら大はしゃぎの子どもたちを見守り、声を枯らして指示を出して下さっている先生方の姿がありました。緑小では先生方をはじめ大人も子どももみんな1年生を大きな輪で囲み、育んでもらっていることを実感しました。優しい上級生の姿をお手本に、がんばれ！1年生！

2年生のヤゴ採り /

ヤゴ、採れた!!



靑空の5月30日(木)の5・6時間目、プール掃除に先立ち2年生のヤゴ採りが行われました。慣れた様子で着替え、1年ぶりのプールへ出発！プールに足をつけるとヌルヌル滑りそうな感じ。しかしあっという間に慣れ、笑顔とともに「いな〜い」「アカムシ!」「アメンボ!」そして「ヤゴ、採れた!」の声が上がりました。先生の合図まで存分にプールの底を探り、終わった後はシャワーでサッパリ。その後ヤゴはどうか？ぜひ2年生に聞いてみて下さい。



ヤゴが2匹採れた

何を食べるのかな?

触ったらクモみたい

6年生プール清掃 /

パワフルに働く最高学年!



2年生のヤゴ採りの翌日、5月31日(金)の1・2時間目、今度は6年生によるプール掃除が行われました。体操着に着替え8時45分には準備バッチリ。先生からの説明を聞き、早速道具を持って担当場所の掃除スタート。

ホースの水とバケツの水を流しながらプールの底・側面の汚れを落とし、プールサイドの側溝の汚れや救護室の掃除にも取り組みました。時折、陽が差すものの、雲の広がるお天気でしたが、パワフルに働く6年生のおかげでプールの底は茶色から青空と同じ青になりました。

6年生、本当にありがとう!



豆腐(白いゴミ)が落ちてるんだよ

楽しい!!

ピカピカになりました!



自由研究ってどうしている?

約40日のながーい夏休みにはいつもと違う特別な宿題があります。読書感想文、ポスター、自由研究(茅ヶ崎市では創意工夫・研究作品展への応募)。今回は自由研究について考えてみたいと思います。



「何をさせればいいのか?」「どう進めたらいいの??」????

そんな時のワンポイントアドバイス! → 子どもたちの自主学習ノートを一緒にのぞいてみる。

発見したこと、興味のあることが書かれているかもしれません。書いていない子も、これから普段の生活の中で「面白い!」「なんで?」「こんなものがあつたらいいな!」と感じたことを自主学習ノートに「面白いと思った、不思議に思ったこと、あつたらいいものコーナー」等を作って、その時感じたこと、考えたことを残してみたいと思います。自主学習の内容を種にして、時間のある夏休みに内容を深めて自由研究を完成させる。そんなことが、この先の好奇心の対象を発見したり、将来の夢につながるチャンスかもしれません。



それでもまだピンとこないな〜という方は、ぜひ次回のために創意工夫展に行ってみてはいかがでしょうか。子どもたちが調べた面白いこと不思議なことがたくさん待っていて、来年の自由研究のテーマのひらめきにつながるかもしれません。

第48回茅ヶ崎市小学校中学校創意工夫・研究作品展
2019.9.13(金)~9.15(日) 9:00~17:00 茅ヶ崎市青少年会館(茅ヶ崎市十間坂3丁目5-37)

先生質問です！

音楽は、心を育てる教科です



「最近、緑小の合奏がすごい！」という評判をよく耳にします。今回はその立役者、音楽の藤澤玲子先生にお話を伺いました。

緑小の合奏が素晴らしいと評判ですが。



学年全員で合わせるの大変です。最初は音にならないくらい。(笑)でも、休み時間に懸命に練習をする子や「もう1回チャンスください」と言ってくる子もいて、あきらめずに喰いついてくる姿勢には応じたいと思っています。そして全員がピタッと揃った喜びを一度経験すると、次はもっとかっこよく演奏したい！と子どもたちが自然と自発的に行動するようになります。その姿は見ているほうも感動しますし、その感動を知ってしまうと、もうやめられない世界です。合奏の魅力はどこなところですか？

合奏にはいろいろな音はひとつもありません。みんなで長い時間をかけて作り上げていくという経験は人生の中でめったにないので、そういう音楽ならではの感動を一人でも多くの子どもに感じてもらいたいと思っています。

音楽系の習いごとをさせたくない子は授業についていくのが大変でしょうか？

必ずしもそうとは限りません。楽譜が読めなくても耳がいい子やリズムのセンスがいい子もいますし、逆にピアノを習っていてもみんなと合わせるのが苦手という子もいます。中学で教えていた時、3年間で驚くほどトロンボーンが上達した教え子に「先生、よく楽譜が読めないんだよ。知ってた？」と卒業際に言われてびっくりしたこともありますよ。(笑)

子どもたちにはどのように音楽とふれあってもらいたいのですか？

「音が苦」ではなく、自由に楽しむ「音楽」をしてほしいです。教科書以外からの選曲でも、どんなジャンルでも構いません。好きな曲が1つでも増えれば、やがてそれが人生の支えになってくれると思います。

保護者へメッセージをお願いします。

(※ホームページにて掲載。)

できるだけ本物に触れる機会を！先日、今秋9月18日(水)公演予定の東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の方が来校され演奏してくださいました。早速、子どもたちは打楽器の特殊奏法に挑戦！「できたー！」と喜ぶ姿が。音楽に限らずスポーツ観戦や美術鑑賞など、お子さまと出かける機会が作れると良いです。そして一緒に楽しむこと。時々音楽の教科書を見ながら歌ったり、共に楽しむ時間を是非もってみてください。私も中学時代師事していたピアノの先生が連れて行ってくださったコンサートで受けた衝撃は今でもはつきりと覚えています。その時にやる気スイッチが入りました。(笑)

「心が育たなければ何をやってもダメ。でも音楽を楽しむためにはちよつとの努力も必要。」とおっしゃる藤澤先生。「子どもたちに自然と備わっている力」や「音楽の素晴らしいところ」について語られていた姿がとても印象的でした。藤澤先生、ありがとうございました！



お名前 : 藤澤 玲子 先生
 出身 : 茅ヶ崎市
 担当 : 3~6年生の音楽
 音楽との出会い : 小学校の時の先生との出会い
 先生になるきっかけ : 大学生の時、偶然会った中学の時の先生の勧め
 経歴 : 茅ヶ崎市内の中学校にて勤務後、緑小の音楽専科に。今年で4年目。
 好きな音楽 : クラシック、サザンオールスターズ、ビートルズ、カーペンターズなど

神奈川県 PTA 協議会 平成30年度広報紙コンクール

奨励賞受賞！

6月15日(土)、ナビオス横浜(横浜市中区)にて神奈川県 PTA 協議会主催の平成30年度広報紙コンクールの表彰式が開催されました。光栄なことに奨励賞を受賞したので、広報ボランティアのメンバー2人が出席しました。

審査委員長である神奈川新聞の岡部統合編集局長の講評によると、平和についての特集などキラリと光る企画が評価されたようで、有難い気持ちでいっぱいです。賞のために広報を作っているわけではありませんが、読んでもらえる記事を書きたいと、毎回みんなでお互いを出し合いながら作っている我が子のような広報を評価されたことは、とても励みになります。

さらに、この秋に開催される全国大会へのエントリーも決まりました！さて、どうなることやら？！



編集後記

今年度最初の「緑の風」、いかがでしたか？
 最近も子どもが巻き込まれる事故や事件が目立っています。特に登下校中に起きていることが多いように感じます。登下校中に限らず、子どもたちの安全について今一度考えていきたいですね。その他にも広報に載せたいことは毎回たくさんあります！限られたページで何を盛り込むか決めていくのは毎回大変ですが、できるだけ皆さんの情報をお伝えできれば嬉しいです。今年度の広報ボランティアは昨年度より引き続きの8名に新たに2名が加わり、計10名で活動していきます。年度途中からの参加も大歓迎ですので、ご興味のある方はぜひご参加ください！広報へのご意見、ご感想などもお待ちしております。



内山



人見



吉竹



大西 大西ハパ



福原



宅見



和田



持田



山田